

「読み解く！屏風絵の世界」

「茨城と東北をつなぐ新発見の二作品」

近年発見された2件の屏風絵。東日本大震災で大きな被害を受けた東北と茨城とをつなぐこれらの作品を通じて、地域の歴史と文化、そして交流について考えます。



常陸名所図屏風(部分) 個人蔵

【日時】 **2015年7月11日(土)** 13時～16時

※入場無料／申し込み不要(先着120名)

【会場】 茨城大学図書館3階ライブラリーホール

【主催】 公益財団法人 上廣倫理財団 茨城大学図書館

【後援】 茨城県教育委員会 茨城大学五浦美術文化研究所



会津藩追鳥狩図屏風(部分) 茨城大学五浦美術文化研究所蔵

講演1 「新発見!常陸名所図屏風」

講師 猪岡萌菜 (千葉大学 大学院生)

京都(洛中洛外)や日本三景などを描く「名所図屏風」。六曲一双の大画面に常陸の名勝や寺社を描いた豪華な作品が東北で発見された!新進気鋭の若手研究者が読み解きます!!

講演2 「初公開!会津藩追鳥狩図屏風」

講師 高橋修 (茨城大学図書館長 人文学部教授)

会津藩が軍事調練のため催した追鳥狩を描く、新しい図様の屏風絵が県内から出現!茨城大学の所蔵となった作品を、合戦図屏風研究の第一人者が徹底解説!!